

# 年間パス楽しく節約

## テーマパークだけじゃない



イオンシネマの年間パスは旧作が1年間見放題に(東京都板橋区)

### 映画・クリーニングも

テーマパークで一般的な「年間パスポート」が映画館やクリーニング店にも広がり、人気を集めている。一定期間サービスが使い放題になるお得感が受けている。4月の消費税増税をにらみ、年間パスを賢く活用してレジャーや日常生活を楽しむ消費者が増えそうだ。

「4月から生活費も上がるのでこういうお得なサービスはありがたい」。イオンシネマ板橋(東京・板橋)で案内ポスターを見た介護士の田村順重さん(23)は購入に意欲

を示す。

運営するイオンエンターテイメント(東京・港)は、映画の旧作48作品が平日1年間見放題になる「シネパス」(9800円)を販売中だ。4月から来年3月まで「イオンシネマ」60劇場で1ヵ月4作品ずつ上映する。1月から販売、シニア層や主婦を中心に「とても好評」という。

「七年目の浮気」など歴史的名作から「英国王のスピーチ」など最近のアカデミー賞受賞作まで幅広く作品をそろえた。別の男性会社員(53)は「自分では選ばない映画が見られる。失敗しても安いから後悔しなさい」と話す。

## 高性能イヤホン・携帯アンプ いい音、外出先でも

家の中だけでなく、外出先でも音質にこだわって音楽を楽しむ人が増えている。高性能なイヤホン

「4月から生活費も上がるのでこういうお得なサービスはありがたい」。イオンシネマ板橋(東京・板橋)で案内ポスターを見た介護士の田村順重さん(23)は購入に意欲

を示す。運営するイオンエンターテイメント(東京・港)は、映画の旧作48作品が平日1年間見放題になる「シネパス」(9800円)を販売中だ。4月から来年3月まで「イオンシネマ」60劇場で1ヵ月4作品ずつ上映する。1月から販売、シニア層や主婦を中心に「とても好評」という。



体感を出す照明つき試着室(東京都中央区の三愛銀座本店)

### ワコール、黒の試着室

西銀座デパート内の婦人下着売り場「サンアイリガーデン」。ピンクやブルーなど春らしい色使いの商品が並ぶワコールの売り場の中央に、黒い試着室が存在感を放つ。発売したばかりのブラジャー「女神のヒミツ」の試着を終えた主婦(35)は「普段の自分じゃないみたいだった」と目を輝かせていた。ワコールが設置したの

### 下着の美しさ実感

は、ブラジャーの着心地やシルエットの美しさをより強く実感できる「BRACK BOX」(フラックボックス)。「サンアイリガーデン」内の売り場での設置は終了したが、ワコールのブラジャーを取り扱う売り場や催事など全国21カ所で3月下旬まで巡回する。真つ黒の室内では、舞台女優がメイクを施す楽屋のような照明を鏡の両側につけ、非日常を演出する。商品をつけて鏡の前に立つと体の陰影が引き立ち、肌もきれいに見えるという。蛍光灯の明るさでは気づけない、軽やかな付け心地やめらかな肌触りを「感覚を研ぎ澄ませてから実感してもらおう」とワコールブランド事業本部の蓮見健氏は狙

う」と話す。■しみ抜き・のり調整123店舗を運営するクリーニングの喜久屋(東京・足立)は昨年11月から、年間1万5000円支払うと通常5000円かかるしみ抜きや、のりの調整が利用し放題になる「プレミアム会員」サービスを実施している。これまで3000人超が登録。都内の会社員、平沢仁之さん(44)はサービス開始と同時に会員にな

なった。ワイシャツなど週に2回はクリーニングを使い、「追加サービスを割安で利用できるのがうれしい」と話す。東京タワーは昨年12月、1年間、大展望台(通常8200円)まで昇り放題になる「タワーパス」(8千円)を発売した。特別展望台も平日限定で昇り放題になる。テーマパークでは、4月から年間パスの価格が変わるため駆け込み需要

も起きている。■「デイズニー」など駆け込み サンリオピューロランド(東京都多摩市)は現在毎日使える年間パス(中学生以上、1万5千円)を、4月販売分から平日限定(18歳以上、1万2千円)にする。3月中に買えば4月以降も休日に使えるとあって、3月は前年比3倍の勢いで売れている。「これまで当日券を買っていた人が、年間パスポート

に移行する動きもある」(運営するサンリオ) オリエンタルランドは東京デイズニーランドと市、両方に入れる年間パス(中学生以上、8万円)を4月1日から8万2千円にする。売り場は「行列ができる」(同社)にきわんだ。一方、横浜・八景島シーパラダイス(横浜市)は年間パスを現在の9800円(高校生以上)から1万1000円に上げるが、「3000円しか上がらないため、目立った駆け込み需要はない」。割安感を見定めて購入する消費者が多いようだ。キリン「生茶」カフエイン抜き 苦み抑える キリンビバレッジは13日、緑茶飲料ブランド「生茶」でカフエインをゼロにした新商品を4月20日に発売すると発表した。独自の吸着技術でカフエインだけを取り除くことで苦みを抑え、優しい甘みを実現。カフエインゼロの緑茶飲料は世界初といい、健康志向の強い20〜40代の女性や子どもなどの需要を見込む。新商品は「やさしさ生